

花は咲く

作詞者 岩井俊二(1963 -)。宮城県生まれ。映画監督・映像作家・脚本家。横浜国立大学卒。映画、テレビ番組、CM、ミュージック・ビデオなど数多くの映像作品があり、独特の映像美で知られる。代表作に映画『Love Letter』『スワロウテイル』『リリイ・シュシュのすべて』など。

作曲者 菅野よう子。宮城県生まれ。作曲家・編曲家。ゲーム、アニメ、テレビドラマ、CM、映画などの音楽を数多く手がける他、SMAPら多くのアーティストに楽曲を提供している。

編曲者 高山直也(1955 -)。東京都生まれ。作曲家、音楽評論家。武蔵野音楽大学卒。1981年日本国民音楽振興財団(現・日本音楽財団)作曲コンクール第1位。ビクターなど数々のレコーディングに参加。

楽曲解説

東日本大震災(2011年3月)の復興支援のためにつくられたチャリティーソング。12年5月、被災地出身者やゆかりのある歌手やタレント、スポーツ選手らによる「花は咲くプロジェクト」名義で発表された。NHKのテレビやラジオ各局で随時流された他、様々なコンサートやイベントで歌われ、ピアニストの辻井伸行やウィーン少年合唱団、イル・ディーヴォらもカバーを発表。

第63回～65回(2012～14年)NHK紅白歌合戦でも歌われ、13年の選抜高等学校野球大会では入場行進曲に使われた。

取り扱い上の要点

- この曲がつくられた経緯を知り、歌詞の意味をよく理解したうえで歌う。
- サビの「はなは はなは はなはさく」の部分、「花」の「は」を明瞭に発音すること。
- 繰り返されるサビのフレーズが単調にならないよう、歌い方や表現を工夫してみるとよい。

(大橋悦子)

伴奏譜…本書p.108

さとうきび畑

作詞者・作曲者 寺島尚彦(1930 - 2004)。現在の東京都生まれ。作曲家。東京藝術大学作曲科卒。在学中に日本音楽コンクール入賞。東京交響楽団の定期演奏会に作品を委嘱される。作品は幅広いジャンルにわたり、作詞、編曲、エッセーなども手がけている。洗足学園音楽大学教授を務めた。

楽曲解説

この曲は作曲者が沖縄のさとうきび畑を訪れたことがきっかけとなって誕生した。1964年6月のことで、当時の沖縄は日本復帰前であった。摩文仁の丘に続くさとうきび畑で「この土の中に戦没者の遺骨が埋もれたままになっています」という話を聞き、美しく広がっていた青い空はモノクロームに一変し、頭越しに吹き抜ける風の音だけが耳を打ち、立ちすくんでしまったそうである。その時に聞こえた音が「ざわわ ざわわ」という、印象的な音である。歌詞は11番まで続き、沖縄の悲劇と戦争の悲惨さを忘れないために、66回も「ざわわ」が繰り返されている。教科書に掲載されているのは「普及版」であるが、「オリジナル版」はフル・コーラスで10分もかかるため、できた頃はテレビやラジオでとりあげられることはほとんどなかった。しかし多くのアーティストが歌い継いできて、作曲されてから35年目に初めて出版された。また現在の糸満市にある平和記念公園のあたりが、当時のさとうきび畑だったということも感慨深い。

取り扱い上の要点

- 歌詞の内容をよくかみしめながら歌わせる。
- 何回も出でくる「ざわわ」の歌い方を、工夫させる。
- いろいろなアーティストの演奏を鑑賞させる。

伴奏譜…本書p.112